

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	元気な農業者支援特別資金利子補給金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	14	12		12			12	▲ 2
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	14	12		12		12	▲ 2

事業概要	近代化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	近代化資金を利用した認定農業者に対し、利子を助成し、経営の安定化を図る。		
現状と背景	対象は平成17年度までの融資分のみ。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	市民農園管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	332	337		337			337	5
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	332	337		337		337	5
	一般財源	0	0		0		0	0

事業概要	農地の賃借料、備品の修理費等市民農園の運営に必要な費用。	今年度見直し事項	
事業目的	市民農園での農業体験を通して、農業への理解を深める。 市民の交流の場とする。		
現状と背景	現在、中浜、中野、竹内の3箇所市民農園があり、多くの方に利用されている。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	親子ふれあい農園事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	256	260		260			260	4
財源内訳	国							0
	県	118		117			117	▲1
	市債							0
	その他	20	25	25			25	5
	一般財源	118	235		118			118

事業概要	中学生以下の子どもとその保護者を対象とし、さつまいも、トマト、キュウリといった野菜の植付から収穫までの農業体験を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	家族で農業体験をすることによって食に対する理解を深める。将来の消費者である子どもたちに地元野菜の素晴らしさを伝える。		
現状と背景	食の安全が注目される中、無農薬または減農薬で野菜を生産、食することにより、子どもの食育に寄与し、参加者からは非常に好評である。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	有害鳥獣捕獲事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	410	410		410			410	0
財源内訳	国							0
	県	278	135	332			332	54
	市債							0
	その他							0
	一般財源	132	275		78			78

事業概要	有害鳥獣による農作物被害を防ぐため、箱ワナによる捕獲駆除を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	カラスによる農作物被害を防ぐため。		
現状と背景	カラス・ヌートリアは市内全域で農作物に食害を与えている。ヌートリアについては外来生物法に基づく防除実施計画を策定し、市が農業者と協力し、防除できる態勢を構築した。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	農地保有合理化促進事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	179	145		145			145	▲ 34
財源内訳	国							0
	県	89		72			72	▲ 17
	市債							0
	その他							0
	一般財源	90	145		73		73	▲ 17

事業概要	農地の集団化を促進し、遊休農地を解消するため、(財)境港市農業公社が行う農地保有合理化促進事業を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	農地保有合理化法人である(財)境港市農業公社の活動を支援することにより、農地の貸し借りを促進し、農家の経営規模の拡大を図るとともに、遊休農地を解消する。		
現状と背景	(財)境港市農業公社を通して、約80ヘクタールの農地の貸し借りが行われている。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	遊休農地利用促進対策事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	826	493		493			493	▲ 333
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他	0	10		10		10	10
	一般財源	826	483		483		483	▲ 343

事業概要	(財)境港市農業公社が借り受けている農地の適正管理	今年度見直し事項	
事業目的	(財)境港市農業公社が借り受けている農地を適正に管理し、景観の保全と併せて借受け希望者があった際、直ちにあっせんできるよう整備するもの。		
現状と背景	(財)境港市農業公社の借り受けている農地の中には、長期にわたり借受け希望が無いものもあり、現在の利用権設定期限が到来するまでの間、適正に管理する必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	農業経営基盤強化資金利子補給金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	493	514		514			514	21
財源内訳	国							0
	県	246	256	256			256	10
	市債							0
	その他							0
	一般財源	247	258		258			258

事業概要	認定農業者が借り入れた農業経営基盤強化資金の利子を助成する。	今年度見直し事項	
事業目的	農業経営基盤強化資金の利子を助成し、経営の安定化を図る。		
現状と背景	農業経営基盤強化資金は資金使途が広いため、認定農業者からの需要が多い。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	農地賃借料助成事業補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	21	101		101			101	80
財源内訳	国							0
	県	10		50			50	40
	市債							0
	その他							0
	一般財源	11	101		51			51

事業概要	新規就農者が借り入れた農地賃借料を助成する。	今年度見直し事項	
事業目的	生産基盤が不十分な新規就農者の負担軽減を行い、農業の新たな担い手を育成する。		
現状と背景	本市の新規就農者は近年減少しており、担い手確保のための支援策として非常に有効である。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	緑肥作物作付推進事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	317	317		317			317	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	317	317		317			317

事業概要	白ねぎの連作障害緩和のために作付けされる緑肥作物の種子購入費の補助	今年度見直し事項	
事業目的	中国産輸入白ねぎに対抗するため、連作障害を緩和し、収穫量2割増収、生産コスト2割削減を目標とする産地改革を推進する。		
現状と背景	白ねぎは連作障害のため、年々単収が低下している。緑肥作物により連作障害の緩和、地力の増進を図る必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	チャレンジプラン支援事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	27,250		0			0	0
財源内訳	国							0
	県		19,333					0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	7,917		0			0

事業概要	意欲のある農業者等が行う創意工夫を活かした取り組みについて計画の実現を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	計画の実現を支援することにより、元気な農業者を育成し、本市農業の振興を図る。		
現状と背景	国庫補助では対応できない中小規模の取り組みも対象になる鳥取県独自の補助制度であり、需要は高い。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	野菜価格安定対策事業費補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	121	188		188			188	67
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	121	188		188			188

事業概要	野菜価格安定基金への積立金の農家負担分に対し補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	特産野菜である白ねぎ、冬人参の価格が下落した際に取り崩される積立金の農家負担に対し、補助することで経営の安定化を図る。		
現状と背景	近年、中国産野菜の輸入により取引価格は低迷している。その中での取引価格の下落は農家にとって死活問題であり、積立金の農家負担を軽減する必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	特産野菜産地維持対策事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	247	247		247			247	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	247	247		247			247

事業概要	白ねぎ病害虫防除薬のスタークル顆粒水溶剤の購入費に対する補助。	今年度見直し事項	
事業目的	特産野菜である白ねぎの指定産地としての地位の維持・発展を図る。		
現状と背景	病害虫防除薬は年々改良されており、新薬剤の普及をする必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	企業等農業参入促進支援事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	4,450	1,300		1,300			1,300	▲ 3,150
財源内訳	国							0
	県	2,966	866	866			866	▲ 2,100
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,484	434	434			434	▲ 1,050

事業概要	農業経営に意欲的な企業等が機械・施設等を整備する際の費用の一部を助成する。	今年度見直し事項	
事業目的	企業等の農業参入を促進し、本市農業の振興を図る。		
現状と背景	農家数の減少や後継者不足から今後の地域農業の担い手の一つに企業等が挙げられている。その企業等が農業参入しやすいように環境を整備することが重要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	就農条件整備事業補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,190	2,528		2,528			2,528	338
財源内訳	国							0
	県	1,459	1,684	1,684			1,684	225
	市債							0
	その他							0
	一般財源	731	844		844			844

事業概要	新規就農者が購入した機械・施設に対し助成する。	今年度見直し事項	
事業目的	基盤が脆弱な新規就農者に補助することにより経営の安定を図る。		
現状と背景	新規就農者は減少傾向。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	水稲作付推進事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	117	140		140			140	23
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	117	140		140			140

事業概要	水稲の作付けを推進するため、JAより購入分の水稲苗代の一部を助成する。	今年度見直し事項	
事業目的	種苗費高騰のため、JAの水稲苗が本年度より135円値上げされる。値上げ分の1/3を補助することにより、水稲の作付けを推進する。		
現状と背景	市内の遊休田は59ha存在し、増加傾向にある。田の一番の活用手段は水稲作付けであり、作付けを推進する必要がある。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	就農住宅整備事業費補助金
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	240	240		240			240	0
財源内訳	国							0
	県	120		120			120	0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	120	240		120			120

事業概要	IJUターンなどで市内に居住する認定就農者に対し、家賃の一部、最小限必要な借家のリフォーム代の一部を5年間補助する。	今年度見直し事項	
事業目的	農業基盤のない認定就農者に住宅費の一部を補助することにより、農業経営の安定を促進する。		
現状と背景	本市ではIJUターンする者に対する住宅に関する補助制度はない。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	農地適正管理費補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	275	138		138			138	▲ 137
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	275	138		138			138

事業概要	農地所有者が農地を適正に管理する費用について、標準的な開墾(草刈)費用の2分の1を限度として助成	今年度見直し事項	
事業目的	遊休農地所有者が業者等に草刈を依頼する際の費用を負担することにより、遊休農地の解消を図る。		
現状と背景	従来、借り手のついた遊休農地については、農業公社が開墾費を負担していたが、農業公社の財政負担の軽減および公平性の観点から、所有者にも費用の1/2以上の負担を願うもの。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	稲作作業委託事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	608	512		512			512	▲ 96
財源内訳	国							0
	県	0		133			133	133
	市債							0
	その他	433	246	246			246	▲ 187
	一般財源	175	266	133			133	▲ 42

事業概要	農業公社が遊休水田を利用しての稲作を農家に委託して行い、収穫された米を学校給食米として利用する。	今年度見直し事項	
事業目的	遊休水田を利用することにより、遊休農地の解消を促進するとともに収穫した米を学校給食米として利用することにより、地産地消・食育に寄与する。		
現状と背景	深田川沿いの水田の遊休化に歯止めをかける。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	就農応援交付金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	1,805		1,805			1,805	1,805
財源内訳	国							0
	県	0	1,203	1,203			1,203	1,203
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	602		602			602

事業概要	新規就農者に対して、就農後3年間、用途を限定しない交付金を交付	今年度見直し事項	
事業目的	就農初期の生産基盤の不安定な新規就農者の早期の経営安定、定着を図る		
現状と背景	経済状況の悪化により、会社を退職して農業へ転職する者が増えるなど農業の担い手確保に追い風が吹いている。しかしながら、機械・施設に対する初期投資、収入が安定して入ってくるまでの運転資金や生活資金の確保に苦慮	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	青年担い手農業者育成支援事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	110		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	110		0			0

事業概要	将来的に本市農業の担い手となる青年農業者の育成のため、青年農業者組織の研修事業に対して補助を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	青年担い手農業者を育成し、本市農業の振興を図る。		
現状と背景	農家数の減少や後継者不足という問題を解決するために、青年担い手農業者の確保は不可欠である。そのために、青年農業者組織に補助を行い、彼らの技術向上を支援することが必要である。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費

所管課	商工農政課
事業名	伯州綿製品地産地消推進事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長・市長査定 ④(増減額)	最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ③-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	0	1,271		0			0	0
財源内訳	国							0
	県		1,203					0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	68		0			0

事業概要	伯州綿を使用した製品を地域の子ども、成人、高齢者に提供する。 (新生児:赤ちゃんタオル、100歳:ひざ掛け。)	今年度見直し事項
事業目的	伯州綿を使用した製品を地域の子ども、高齢者に提供することで、安心、安全な伯州綿製品による「衣」の地産地消を推進、国産栽培綿の魅力内外PRし、他製品の販売促進につなげる。 (新生児:赤ちゃんタオル、100歳:ひざ掛け。)	
現状と背景	H21年度より(財)境港市農業公社において「伯州綿」を本格栽培。 H23年度は今まで試作を重ねた各種伯州綿製品を本格的に販売していく。 地域で生まれてくる「赤ちゃんを包むタオル」作りを一つの物語として、地域住民に栽培綿を支えてもらいながら、栽培を継続できる事業化に向けた礎を築く。	その他